圧縮機

日立スクリュー式空気圧縮機

日立IoT対応空気圧縮機

NEXT III series

[ニューラインアップ]

「FitLive®サービス」サービス利用料1年間無償 ※1

2年目契約にて製品保証期間1年延長 ※2

IoT時代の通信機能とセキュアな監視システムが、新時代のコスト／稼働管理メリットを実現

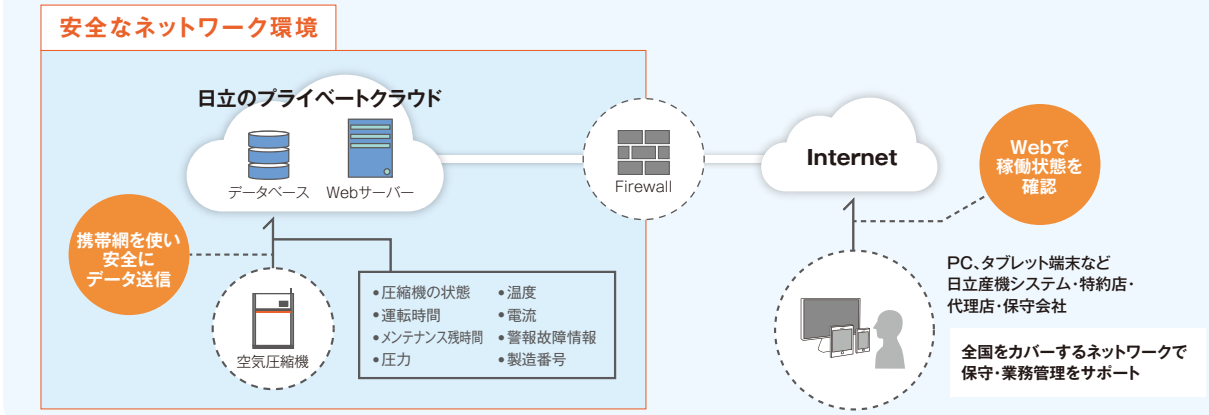
運用コストを抑えながら、さらなる省エネ／安定稼働が求められる、これからの時代。製造ライン設備の「戦略的」な運用が不可欠です。

特長1 クラウド監視サービス「FitLive®サービス」に標準対応

携帯キャリアの通信機能を標準搭載しており、安全かつ容易にネットワーク環境を構築し、お客さまの設備の安定稼働に貢献します。

クラウド監視サービス「FitLive®サービス」

セキュリティの高い通信網と日立のプライベートクラウドを使ったセキュアな監視サービスです。24時間365日、リアルタイムに空気圧縮機の稼働状況を把握し、状態監視によりお客さまの設備環境における問題を抽出し、アラートメールを自動配信。設備のダウンタイム短縮を図ります。



※1 新規ご購入時に「監視サービス希望」を初期選択されたお客さまに限ります。サービスのご利用には圧縮機のタッチパネルによる初期設定で、クラウド監視サービスを希望され、インターネットによるWeb登録が必要です。
※2 2年目も契約を継続いただいたお客さまに限ります。取扱説明書および本体貼付ラベルの注意書きに従った正常な使用状態で不具合が生じた場合に限ります。

特長2 ライフサイクルコストを削減

安定稼働

24時間リアルタイム監視で設備の安定稼働へ

これまでの事後保全では、設備の故障リスクが常に存在し生産計画に支障をきたします。クラウド監視を活用した保守が、安定稼働をサポートします。

管理費削減

クラウド監視サービスで、設備管理業務を大幅軽減

日常管理や故障時の対応、整備や部品の見積対応と現場や事務処理などの設備管理業務を大幅に軽減。クラウド監視によって緊急対応･状態監視･設備管理をサポートし、設備管理にかかるお客さまの負担を減らします。

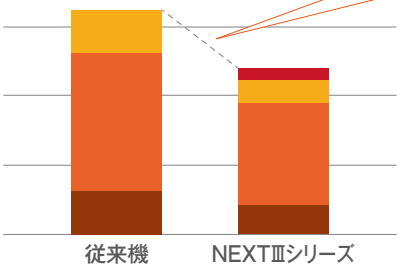
無駄な電気代削減

機器運用の最適化で更なる省エネ運転へ

クラウド監視や保守によって、最適なタイミングに機器の状態を改善することで常に効率よく運転します。
例）吸込みフィルタが詰まるだけで空気量は10%減、電力ロスは3%増加します※3。 ※3 10kPaの詰りの場合

NEXTⅢシリーズのコストメリット

運用コストの比較



運用コストを26%削減

- クラウド監視料
- 管理費
- 保全費（修理･整備）
- 無駄な電力損失

※当社試算（OSP-37kWの年間費用で比較）
※計算条件：年間運転時間6,000時間
※設備の管理方法、修理･整備の回数によって試算結果は異なります。

NEXTⅢシリーズとFitLive®サービスは、工場設備の運用効率をピンポイントで改善します。

導入の主な効果

1. 修理／整備スケジュールの最適化
2. 設備管理工数削減
3. 事故の発生リスク軽減
4. 不具合対応の削減／迅速化

特長3 面倒な設定不要

通信機能が標準搭載されているので、電源を入れて圧縮機のタッチパネルの質問に答えていくだけでFitLive®サービスへの基本設定ができます。その後、Webサイトから必要事項を登録することで設定が完了します。

FitLive®サービス手続き方法

特長4 多機能カラータッチパネル搭載

カラータッチパネルを標準装備。テンキー入力やスケジュール予約運転に加えて、各種通信機能を簡単に設定でき、わかりやすく表示します。また、運転記録を確認できるため、安全な保守に役立ちます。

※画面はハメコミ合成です。

メニュー

E-MODE

お問合せ：日立産機システム 空圧システム事業部 03-4345-6075
http://www.hitachi-ies.co.jp/products/cmp/index.html